

《「酒田女鶴」直販施設整備プロジェクト》

市町村	酒田市	対象地域	酒田市	分野	土地利用型作物
実施主体名	酒田女鶴部会	代表者氏名	部会長 渡部正宏	住所又は主たる事務所の所在地・連絡先	酒田市吉田字伊勢塚112番地
実施主体構成	農業者21戸				

プロジェクト 目標（5年後）	産出額（増加額）	16,224,000円（16,224,000円）					
	独自の目標項目	東京方面高級百貨店への出荷店舗数20店舗以上（高島屋17店舗、成城石井3店舗 他）					
各年次目標	現 状	1年目（H21）	2年目（H22）	3年目（H23）	4年目（H24）	最終年（H25）	
	産出額	0円	811,200円	2,433,600円	8,112,000円	12,168,000円	16,224,000円
	独自の 目標項目	成城石井1店舗契約見込み	納品計画の順守。高品質化	首都圏3店舗への販売。	首都圏10店舗への米販売。	首都圏15店舗への米販売。	首都圏20店舗への米販売。
プロジェクト 概要	◎実施方針	「酒田女鶴」を首都圏高級百貨店へ付加価値をつけて販売する。その為に必要な商品の高品質化、小ロット化をクリアできる出荷施設整備を行う。					
	○産出額の増大	5年後には、米20kgを週2回の頻度で首都圏20店舗以上に納品して1,600万円強を産出。					
	○雇用の創出	精米から袋詰に至る一連作業の人件費は5年間総額179万円（見込み）。 平成25年の雇用人数 2人/日（週2日、26週間）					
	○創意工夫	高級百貨店の品質基準に対応した米の高品質化・小ロット化できる出荷施設の整備により、付加価値をつけて部会から直接販売できる。					
	○実現性	販売促進活動により、成城石井1店舗と契約内定済。さらに成城石井2店舗へも納品の可能性が高い。高島屋横浜店とも交渉中であり、将来的に都内全17店舗への納品を打診されている。					
	○地域への波及効果	農業所得の増大により、経営の安定化、農村の活性化に繋がる。					
	○その他	バイヤーとの直接商談会「アグリフードEXP02009」で93社と直接交渉し、約15社が契約に前向き。					

		実施年度（平成21年度）	実施年度（平成 年度）
事業内容		直接販売施設の整備	